

令和6年度 全国学力・学習状況調査
教科に関する調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小田川小学校長

令和6年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の教科に関する調査結果及び考察についてお知らせいたします。

この調査は、学校における児童への教育指導や学習状況の改善等に役立てることなどを目的としています。

調査対象は6年生で、国語、算数の2教科を実施しました。

本校では、教科に関する調査結果とその考察、ならびに指導方法を改善する取組をお知らせし、学校と保護者や地域の方々がともに手を携えて、児童の学力向上や学習環境などの改善に取り組んで参りたいと考えておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の一部であること、また、学校における教育活動の一側面の結果であることをご理解ください。

【本校と全国の平均正答率比較】

教科	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
国語	67.7%					○
算数	63.4%			○		

【国語：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
言葉の特徴や使い方に関する事項	64.4%					○
情報の扱い方に関する事項	86.9%	○				
我が国の言語文化に関する事項	74.6%					○
話すこと・聞くこと	59.8%			○		
書くこと	68.4%	○				
読むこと	70.7%	○				

【考 察】

- 「言葉の特徴や使い方に関する事項」については、学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができます。今後も、文章の中で適切に漢字を使おうとする習慣を身につけさせていきます。
- 「書くこと」の領域については、目的や意図に応じて事実と感想、意見とを区別して書き表し方を工夫することに課題があります。授業においては、事実と感想、意見のそれぞれの書き方でまとめる言語活動を設定していきます。

【算数：本校と全国の領域別平均正答率比較】

領域	全国平均正答率	下回っている	やや下回っている	ほぼ同じ	やや上回っている	上回っている
数と計算	66.0%		○			
図形	66.3%					○
変化と関係	51.7%	○				
データの活用	61.8%	○				

【考 察】

- 「図形」の領域については、図形の特徴や、見取り図の見方について理解し、説明することができます。今後も、身の回りにある図形に関わる算数的活動を充実させていきます。
- 「変化と関係」の領域については、問題を解くために必要な条件を選び、条件をもとにして計算し、答えを導き出す必要があります。問題を解決するための条件は何か、どこから条件が分かるのかについて、これからも授業の中に位置づけて学習を進めていきます。

令和6年度 全国学力・学習状況調査 質問紙調査結果及び考察について

保護者の皆様へ

白河市立小田川小学校長

「全国学力・学習状況調査」では、学習や生活の状況について質問紙による調査も実施しましたので、一部ですがその結果及び考察をお知らせいたします。

特に、児童の家庭学習の取組や授業の様子に関する調査結果を公表し、学校と家庭・地域の協力体制を強化していくことを目的としています。

この結果を、ぜひご家庭でも子どもさんと一緒に話し合っ、家庭生活の見直しに役立ててくださるようお願いいたします。

- 1 分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか。

		できている	どちらかといえば できている	どちらかといえば できていない	できていない
小 6	全 国	30.3	50.4	16.2	3.1
	小田川小	30.8	61.5	0.0	7.7

(単位 %)

【考 察】

- ICTを活用した個別最適な学習や学び方を理解できる授業の実践が生かされてきています。また、相互の自主学習の内容を知る機会を設定することで、学び方の工夫にはどのような例があるのかを、子どもたちが理解できています。
- 学び方については、今後も個別にきめ細かく対応するよう努めていきます。

- 2 授業時間以外に、普段（月～金）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。

		3時間以上	2時間以上 3時間未満	1時間以上 2時間未満	30分以上 1時間未満	30分未満	全くしない
小 6	全 国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
	小田川小	7.7	7.7	61.5	15.4	0.0	7.7

(単位 %)

【考 察】

- 本校の「生活のきまり」から推奨してきた家庭学習時間（学年×10分+20分）が浸透しており、4分の3以上の児童が学習時間を確保できています。
- 家庭学習への取り組みに対する内容面での称賛や、家庭学習での成果を見合う場面の設定を今後も継続し、更に学習意欲の高揚や学習時間の拡充に努めていきます。

3 学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか。

		当てはまる	どちらかといえば 当てはまる	どちらかといえば 当てはまらない	当てはまらない
小 6	全 国	31.9	48.9	16.0	3.1
	小田川小	53.8	46.2	0.0	0.0

(単位 %)

【考 察】

- 日頃の授業において、まとめや振り返りを大切にした学習を進めていることにより、次の学習につながられていると考えられます。
- TTによる指導や、個別指導、ICTを活用した個別最適な学習を今後も効果的に行い、既習内容からより深い学習の理解につなげていきます。

4 携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか。

		きちんと 守っている	だいたい 守っている	あまり 守っていない	守って いない	携帯電話・スマートフ ォンやコンピュータは 持っているが、約束は ない	携帯電話・スマートフ ォンやコンピュータを 持っていない
小 6	全 国	39.4	31.7	4.5	0.9	9.8	13.7
	小田川小	38.5	15.4	0.0	7.7	15.4	23.1

(単位 %)

【考 察】

- 家の人との約束を守っている児童の割合に比べ、「守っていない」「約束がない」児童の割合が多く、家の人知らないところで思わぬトラブルに巻き込まれることが懸念されます。
- 情報モラル教育を引き続き継続して自制心を高めるとともに、学校・学年だよりや情報モラル教育をより一層充実させ、「家庭でのルールの再確認」「見守り（見届け）」について、家庭と連携して取り組んでいきます。